

取扱説明書

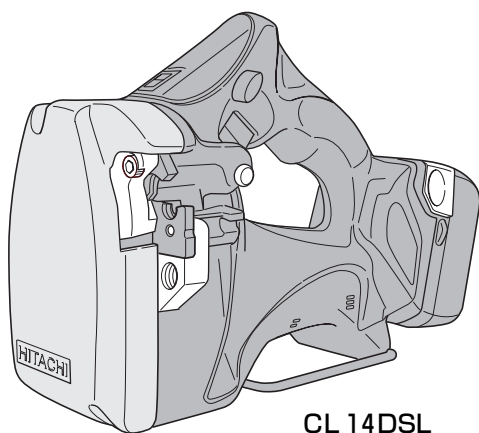
用途

- 全ねじの切断(下記サイズ)
W3/8 : 軟鋼・ステンレス
W5/16、M10、M8、M6 : 軟鋼のみ

日立 コードレス全ねじカッタ

14.4V **CL 14DSL** 18V **CL 18DSL**

このたびは日立コードレス全ねじカッタをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



CL 14DSL

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意	6
各部の名称	9
仕様	11
別売部品	12

はじめに

電池残量表示について	13
正逆切替ボタンの使い方	13
フックの使い方	14
充電する	15
切断する	17
カッタの取りはずし・取付け	19
吊下げ、固定された全ねじの切断	21
定寸切断作業	22
全ねじのバリ取りについて	22
切断途中の全ねじのはずし方	23
切断できる回数について	23

使い方

保守・点検	24
ご修理のときは	裏表紙

その他

⚠警告、**⚠注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」、「**⚠注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「**⚠注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が0℃未満、または温度が40℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡(ショート)させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡(ショート)して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

警告

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものと粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
工具が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
工具が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃以上上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の内車など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率よく作業するために、工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合った工具を使用してください。**
 - 小形の工具やアタッチメントは、大形の工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠ 注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス全ねじカッタとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① **スイッチを操作する際、カッタに指を近づけないでください。**
 - けがの原因になります。
- ② **カッタの点検、掃除、交換の際は必ず蓄電池を本体からはずしてください。**
 - 誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。
- ③ **高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。**
 - 材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ④ **本体を持ち運んだり、保管したり、作業を休止している際は、正逆切替ボタンをロックの位置にしておいてください。**
 - ロックの位置にしておかないと、不用意にスイッチが入り、けがの原因になります。(P 13「正逆転切替ボタンの使い方」参照)

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②、③ の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。

14.4V蓄電池(BSL 14 xxシリーズ)の場合: 電池電圧約8Vまで低下すると停止

18V蓄電池(BSL 18 xxシリーズ)の場合: 電池電圧約10Vまで低下すると停止

このときは速やかに充電してください。

② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。

このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。

• 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。

• 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。

• 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。

• 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。

② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。

③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。

④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。

⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。

⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。

⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

警告

- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取出して使用しないでください。

注意

- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
 - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。

なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。

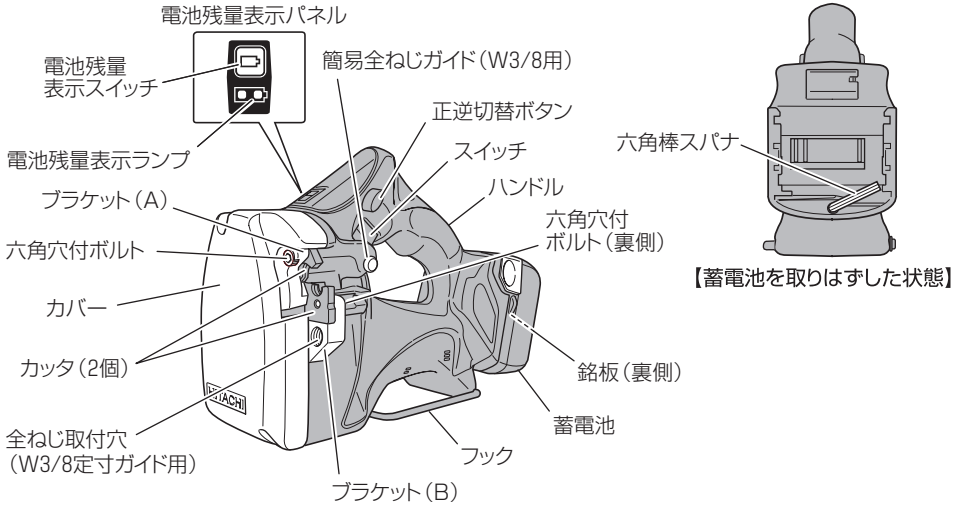


○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

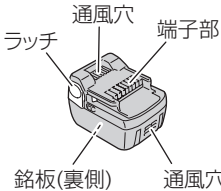
各部の名称

工具体体【イラストはCL14DSLです】

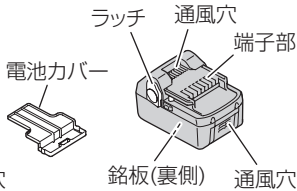


蓄電池

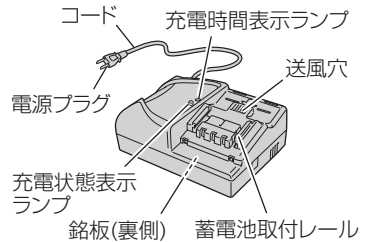
14.4V (BSL1430)
(BSL1440)
(BSL1450)



18V (BSL1830)
(BSL1840)
(BSL1850)



充電器



標準付属品

品名・形名	工具体体 仕様	CL 14DSL			
		SLCK	LLCK	LJCK	NN
蓄電池	(本体装着)	BSL 1430 1個	BSL 1440 1個	BSL 1450 1個	—
充電器	UC 18YSL 2	1台	1台	1台	—
W 3 / 8 カッタ	(本体装着)	1組	1組	1組	1組
六角棒スパナ	(本体装着)	1個	1個	1個	1個
収納ケース		1個	1個	1個	—
電池カバー		1個	1個	1個	—

品名・形名	工具体体 仕様	CL 18 DSL			
		LSCK	LLCK	LJCK	NN
蓄電池	(本体装着)	BSL 1830 1個	BSL 1840 1個	BSL 1850 1個	—
充電器	UC 18YSL 2	1台	1台	1台	—
W 3 / 8 カッタ	(本体装着)	1組	1組	1組	1組
六角棒スパナ	(本体装着)	1個	1個	1個	1個
収納ケース		1個	1個	1個	—
電池カバー		1個	1個	1個	—

仕様

1. 工具本体

形名	CL 14DSL	CL 18 DSL
切断能力※	軟鋼全ねじ：W3/8、W5/16、M10、M8、M6 ステンレス全ねじ：W3/8	
無負荷ストローク数 [気温20℃満充電時]	30 min ⁻¹ {回/分}	
モーター	直流モーター	
蓄電池	円筒密閉形リチウムイオン電池	
電池電圧	14.4V	18V
工具本体寸法 全長×全高×センチメートル	277 mm×185 mm×104 mm (蓄電池装着時)	283 mm×185 mm×104 mm (蓄電池装着時)
質量	2.9 kg (蓄電池装着時)	3.0 kg (蓄電池装着時)
残量表示ランプ	赤色LED	

※指定サイズの全ねじ以外の切断にはご使用できません。

注 黄銅全ねじやW 3/8 以外のステンレス全ねじを切断すると、ねじ山が変形し、ナットが入りません。また、焼き入れボルト、異なるサイズの全ねじ、鉄筋などを切断すると、本体を破損する場合がありますので、使用しないでください。

2. 充電器

形名	UC 18YSL2
入力電源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V
充電時間 [気温20℃時]	BSL 1450 / BSL 1850 : 約 35 分 BSL 1440 / BSL 1840 : 約 30 分 BSL 1430 / BSL 1415 / BSL 1830 : 約 22 分
充電電圧	14.4V - 18V
充電電流	BSL 1450 / BSL 1850 / BSL 1440 / BSL 1840 / BSL 1430 / BSL 1830 : 7.5 A BSL 1415 : 3.5 A
コード	2 心ビニールコード
質量	0.7 kg
使用温度範囲	0℃ ~ 40℃
冷却	対応 (ファン付き)
ブザー音	あり

3. 蓄電池






形名	BSL 1430	BSL 1830	BSL 1440	BSL 1840	BSL 1450	BSL 1850
容量	3.0 Ah {3,000 mAh}		4.0 Ah {4,000 mAh}		5.0 Ah {5,000 mAh}	
冷却	対応					

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

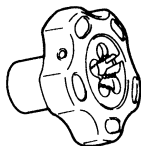
カッタ

W 3/8 以外のカッタを本体へ装着するときは、専用のスペーサ (黒色) を使用します。詳しくは、P 20 「カッタの取付け」を参照してください。

カッタ名	セット内容	カッタ名	セット内容
W3/8 カッタ		M10 カッタ組	M10 スペーサ (黒色) + 
W5/16 カッタ組	W5/16 スペーサ (黒色) + 	M8 カッタ組	M8 スペーサ (黒色) + 
		M6 カッタ組	M6 スペーサ (黒色) + 

トリマー

W3/8 軟鋼・ステンレス全ねじ、および W5/16、M10、M8、M6 軟鋼全ねじを切断した後のバリ取り用にご使用ください。対応する全サイズ (5 種) をご用意しています。

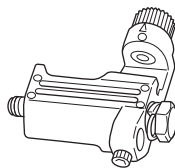


全ねじガイド

W3/8、M10、M8、M6 各サイズの全ねじを切断するときのガイドにご使用ください。

全ねじ切断時の傾きを小さくすることで切断面の仕上がりが良く、カッタの寿命を延ばします。

(W5/16 はダイヤルを M8 にセットしてください。)






電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

⚠ 注意

電池残量表示パネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。

電池残量表示パネル

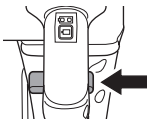


注 電池の消耗を少なくするため、電池残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。

正逆切替ボタンの使い方

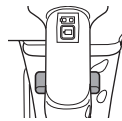
作業に応じて切断、ロック、開放の3位置にボタンを切替えてください。

切断



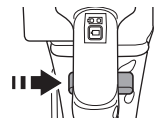
切断作業時に、ボタンを右から押し込みます。スイッチを引くとモーターが起動し、カッタが動きます。

ロック



運搬や保管、作業休止の際には、中央の位置にします。スイッチを引いてもモーターは起動しません。

解放



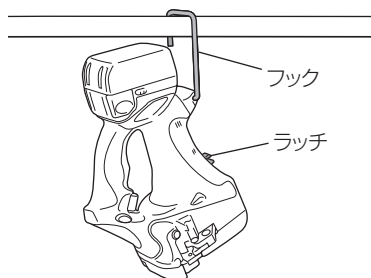
ボタンを左から押し込みながらスイッチを引いて、カッタから全ねじをはずし、すぐにスイッチを切ります。(P23「切断途中の全ねじのはずし方」参照)

フックの使い方

⚠ 警告

- このフックは人体への吊下げ用ではありません。
ベルトやズボンなど人体への吊下げは、けがの原因となりますので、絶対にしないでください。
- フックを使用するとき、本体がすべり落ちたり、風などで不安定にならないことを確認してください。
- 通常使用されるとき、または保管するときには、フックは本体底部のラッチに収納しておいてください。

作業中に本体を一時的に置くとき、フックを利用されると便利です。



充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。

2 コンセントを確認する

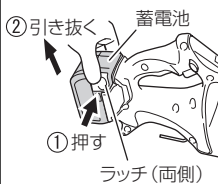
コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P16「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき



蓄電池をしっかり突き当たるまでさし込んでください。

充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤/橙/緑の

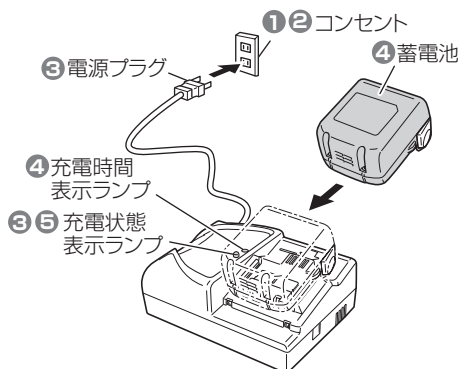
いずれかに連続点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

警告

手順 ①、② については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。



充電時間

BSL1430/BSL1830 : 約22分



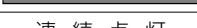


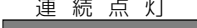

BSL1440/BSL1840 : 約30分

BSL1450/BSL1850 : 約35分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電時間の目安を表示する「充電時間表示ランプ」と充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がついています。各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示		表示内容
充電時間 表示ランプ	赤点灯	連続点灯 	充電完了まで約 30分
	橙点灯	連続点灯 	充電完了まで約 20分
	緑点灯	連続点灯 	充電完了まで約 5分
	赤点滅	0.3秒点灯 / 0.3秒消灯 	蓄電池の温度が高くて充電できません。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
充電状態 表示ランプ	赤点滅	0.5秒点灯 / 0.5秒消灯 	電源にさし込んだ状態
	緑点灯	連続点灯 	充電完了
	橙の速い点滅	0.1秒点灯 / 0.1秒消灯 	充電器または蓄電池に異常があります。 (下記参照)

- 注** ● 橙の速い点滅(0.1秒点灯/0.1秒消灯)を繰り返し、ブザーが「ピッピッピ」と約2秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。
異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
- 一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
 - 炎天下での使用や使用直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電してください。
すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
 - 工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
 - 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつかたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。
寿命のつかた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。

切断する

●下記サイズの全ねじを切断します。

W3/8 (通称 3分全ねじ) : 軟鋼・ステンレス

W5/16 (通称 2分5厘全ねじ)、M10、M8、M8 : 軟鋼のみ

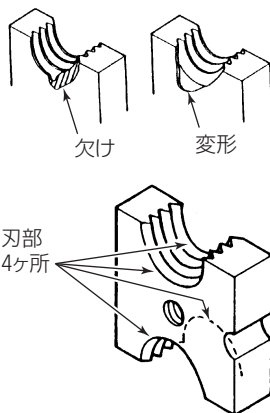
警告

カッタの点検の際は、必ず蓄電池を本体からはずしてください。
誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

1

カッタ刃部を確認する

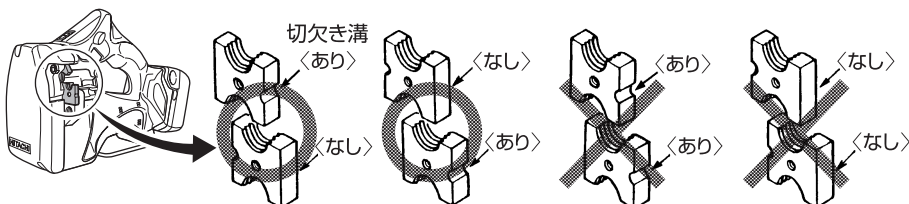
- 右図のように、刃部に<欠け>や<変形>を生じたカッタをそのまま使用すると、全ねじの切断部にバリを生じたり、ねじ山が変形してきれいに切断できなくなり、ナットが入らなくなります。
- 刃部に欠けや変形がある場合は、上下2個のカッタの取付け向きを変えて新しい刃部を使用するか、または新しいカッタに交換してください。(P19「カッタの取りはずし・取付け」参照)



2

カッタ取付け向きを確認する

カッタの取付け向きにはねじ山の方向性があるため、本体正面から見て、上下2個のカッタの側面切欠き溝が下図に示す<あり>と<なし>の正しい組合せ(2通り)になっているかご確認ください。



注

2個のカッタを取付けている2本の六角穴付ボルトがしっかり締付けられているか、本体蓄電池挿入部に装着してある(P9「各部の名称」参照)六角棒スパナを使用してください。

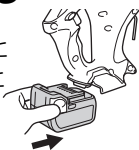
ボルトがゆるんだ状態でご使用になると、本体やカッタの破損をまねく事があります。

警告

- スイッチ操作時は、絶対にカッタに指を近づけないでください。
- 短い全ねじを切断するなどの作業では、本体と全ねじのすき間(簡易全ねじガイドと全ねじのすき間、蓄電池部と全ねじのすき間など)に指をはさまないように注意してください。

3 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。

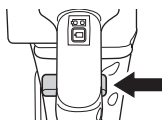


4 正逆切替ボタンを切断にセットする

ボタンを右から押し込み、切断の位置にします。

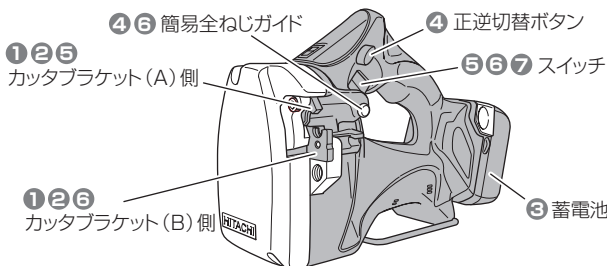
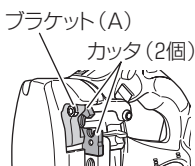
切断

(P 13「正逆切替ボタンの使い方」参照)



5 カッタを開く

スイッチを引いて、ブラケット(A)を動かしカッタが開いた状態で停止させます。

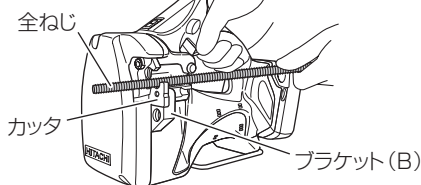


注意

蓄電池は確実に取付けてください。確実にないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。

6 全ねじをセットしてスイッチを入れる

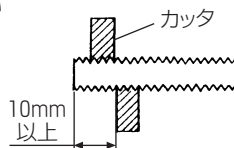
- 切断する全ねじをブラケット(B)側のカッタに、ねじ山が正しくかみ合うようにセットします。
- 簡易全ねじガイドで全ねじがガイドされます。(W 3/8 の場合)



7 スイッチを切る

全ねじ切断後、カッタが開いた状態でスイッチを切ると、次の作業がしやすくなります。

注 全ねじを 10 mm 以下の長さで切断すると、全ねじとカッタのかみ合い長さが短くなり、カッタの損傷につながります。10 mm 以上の長さで切断してください



カッタの取りはずし・取付け

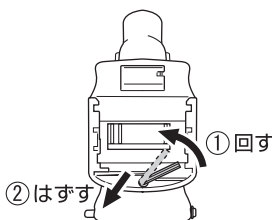
⚠ 警告

カッタの取りはずし、取付け、交換の際は、必ず蓄電池を本体からはずしてください。誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

●六角棒スパナの取出し・収納

取出し

- 蓄電池を取りはずしてください。
- 六角棒スパナを反時計方向に回して引っ張り、取りはずします。



収納する

- 六角棒スパナを取付穴にさし込み、時計方向に回して引っかけ、固定します。
- 蓄電池を取付けてください。

●カッタの取りはずし

1 カッタを開く

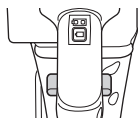
スイッチを引いて、ブラケット(A)を動かし、カッタが開いた状態で停止させます。



2 正逆切替ボタンをロックの位置にする

P13「正逆切替ボタンの使い方」参照

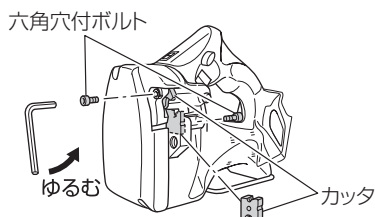
ロック



3 蓄電池を取りはずす

4 カッタを取りはずす

- 付属の六角棒スパナで六角穴付ボルト(2本)をゆるめて、上下2個のカッタを取りはずします。
- スペーサがある場合は、スペーサも取出してください。

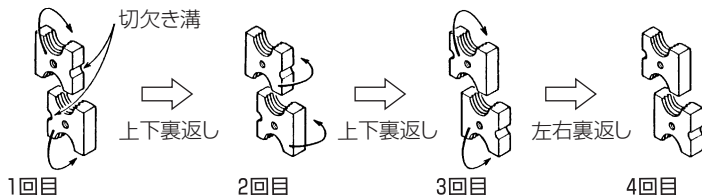


●カッタの取付け

1

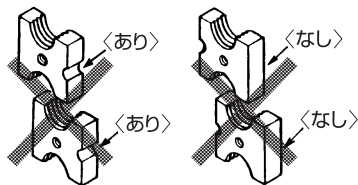
カッタを準備する

- カッタを2個用意して、刃部の欠けや変形を確認し、カッタの取付面にふくらみがある場合には、ヤスリなどで平らに仕上げてください。
- 刃部の取付け向きを替えれば、1個のカッタを4回で使用いただけます。



- ブラケット(A) (B)のカッタ取付け溝内に付着した切粉は、ブラシなどで取除いてください。

注 切欠き溝が<あり>と<なし>、<なし>と<なし>の間違った組み合わせでは、全ねじの山(ピッチ)にカッタのピッチが一致しないため、カッタの刃部が破損したり、本体の早期故障につながりますのでご注意ください。

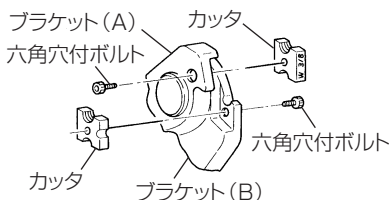


2

カッタとスペーサを取付ける

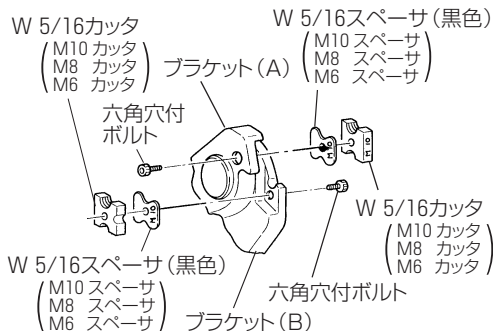
W3/8 カッタの場合(標準付属)

カッタをブラケット(A) (B)のカッタ取付け溝に入れ、六角棒スパナで六角穴付ボルトを十分に締めて、2個のカッタを確実に固定します。(スペーサは使用しません)



W5/16、M10、M8、M6 カッタの場合(別売付属)

たとえば、W5/16カッタをご使用の場合、同梱の専用スペーサ(黒色)をブラケット(A)とカッタの間、ブラケット(B)とカッタの間に正しくはさみ込み、六角棒スパナで六角穴付ボルトを十分に締めて、2個のカッタを確実に固定します。



吊下げ、固定された全ねじの切断

天井から吊下げたり、壁や床に固定された全ねじを切断する場合、全ねじをカッターにセットする際に、ねじ山のかみ合わせが不安定になりますので、次のようにご使用ください。

1 ねじ山をかみ合わせる

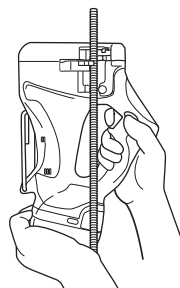
- ブラケット (B) 側のカッターに、全ねじのねじ山を正しくかみ合うようにセットします。
- スイッチを小刻みにON-OFFしながらカッターを少しずつ閉じていき、全ねじのねじ山と上下両方のカッターのねじ山を完全にかみ合わせます。

2 全ねじを切断する

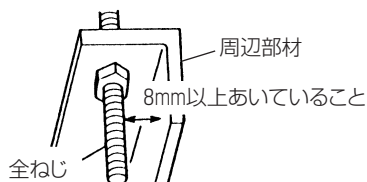
スイッチを完全に引いて、全ねじを切断します。

⚠ 注意

吊下りの全ねじを切断するときは、万一の落下防止のため、本体は両手で保持してください。



- 注** 狭い箇所に固定された全ねじを切断するときは、全ねじと周辺部材に8 mm以上の間隔が必要です。8 mm以下では、カッターが周辺部材に当たり、カッターや本体を損傷します。



定寸切断作業

同じ長さの全ねじを数多く切断する定寸切断が、能率よく切断できます。

1 定寸ガイドを作成する

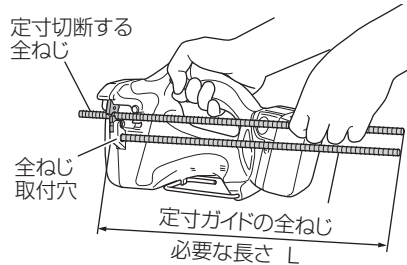
W3/8全ねじを1本、必要な長さ(L)より20mm以上長くして切断し、これを定寸ガイドに利用します。

2 定寸ガイドを取付ける

- 本体の全ねじ取付穴(W 3/8用)に定寸ガイドの全ねじをねじ込みます。
- 定寸ガイドの全ねじの後端部からカッタまでの距離が、必要な長さ(L)になるよう前後に微調整してください。

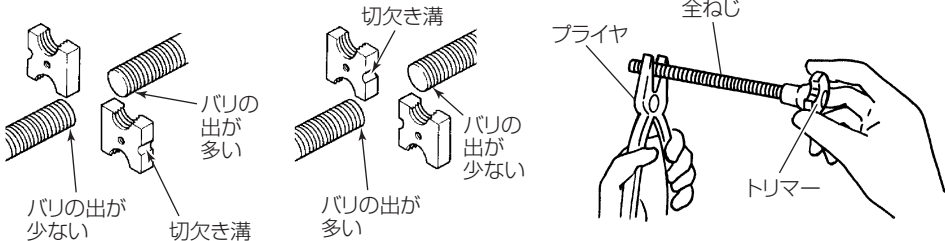
3 全ねじを定寸切断する

- 切断しようとする全ねじを、定寸ガイドの全ねじと後端部をそろえてカッタにセットし、切断します。
- 必要な長さ(L)に切断されますので、同じ手順で作業を繰り返します。



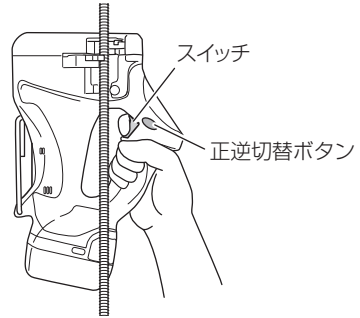
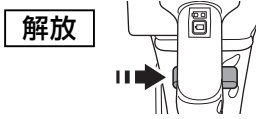
全ねじのバリ取りについて

- W3/8 ステンレス全ねじ、およびW5/16・M10・M8・M6 軟鋼全ねじを切るときは、切欠き溝のないカッタ側の切り口はバリが小さくなります。
- 切断後、バリでナットが入らない全ねじもありますので、プライヤ等で全ねじを固定し、切り口のバリをトリマー(別売部品)・ニッパ・ヤスリなどで取ってください。また、市販のアジャスタブルねじ切りダイスなどを使ってバリを取ることも可能です。



切断途中の全ねじのはずし方

- 電池残量が少なくなり全ねじ切断作業途中でモーターの回転が停止した場合、すぐに正逆切替ボタンを開放側へ（左から）押し込みながらスイッチを引いて、モーターを逆回転させ、カッタから全ねじをはずしてください。



- 注**
- 電池残量が少なくなり、全ねじ切断作業の途中でモーターの回転が停止した場合だけ開放の位置にしてください。
 - カッタを全ねじからはずして、スイッチを入れたままにすると、再びカッタが全ねじに食いついてしまいます。
 - 開放の位置で全ねじを切断しようとしてもモーターが過負荷になり、切断できません。また、本体に無理な力が作用し、破損する場合がありますので、開放の位置では切断しないでください。

切断できる回数について

一充電当たりの全ねじの切断回数の目安を示します。

(切断回数は、周囲温度、蓄電池特性、カッタの状態などにより多少異なります。)

工具本体	蓄電池	全ねじ					
		W3/8 軟鋼	W3/8 ステンレス	W5/16 軟鋼	M10 軟鋼	M8 軟鋼	M6 軟鋼
CL 14DSL	BSL 1450	約 1,235 回	約 735 回	約 1,520 回	約 1,100 回	約 1,700 回	約 2,535 回
CL 18 DSL	BSL 1850	約 1,535 回	約 870 回	約 1,820 回	約 1,320 回	約 2,035 回	約 3,035 回

保守・点検

警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●取付ねじの点検

工具のねじがゆるんでいないか、点検してください。
ゆるんでいたら、締直してください。

●カッタの点検とお手入れ

刃部に欠けや変形を生じたままご使用されると、全ねじの切断部にバリを生じたり、ねじ山が変形して、ナットが入らなくなります。

早めにカッタの取付け向きを変えるか、新品と交換してください。

使用後は、特にカッタの刃部周辺をブラシなどで掃除してください。

●お手入れする

工具が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●作業後の保管

作業後は、温度が50℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。

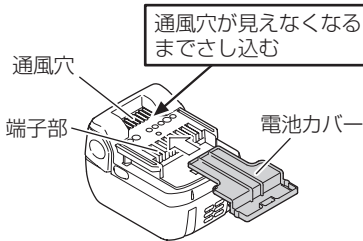
- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケース等に保管するときは、ケース内に導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



注 リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。

蓄電池の残量が少ない状態で長期間(3ヶ月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2～5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

メ モ

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、
修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店(TEL)		

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00

●フリーダイヤル



0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。

携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。

お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 5733-0255	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスして最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス



右のQRコードをバーコードリ
ーダー機能付きの携帯端末より
読み取ることで、最新の全国営
業拠点をご確認いただけます。



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>